



56k | 300k

小1女兒殺害事件で被害者の父親が極刑求め署名提出

ペルー人の男に殺害された当時小学1年生木下あいらちゃんの父親が30日、控訴審を担当する広島高等検察庁あてに極刑を求める署名を提出しました。

署名を提出したのは性的暴行を受けて殺害された木下あいらちゃん(当時7)の父親、建一さんです。木下さんは30日午後、広島高検を訪れ国内外から集まった400人分の署名を提出しました。

「励まし、判決に納得しない…そういう声をすごく心強く思っている」(木下建一さん)

木下あいらちゃん殺害事件では、広島地検がペルー人のホセ・マヌエル・トレス・ヤギ被告に対して死刑を求刑しましたが去年7月、広島地裁が無期懲役を言い渡しました。

判決を受けて建一さんと支援者は、インターネットを通じて求刑通りの極刑を求める署名を集めていました。

「いかに一審判決がおかしいか疑問に思っていたら」(木下建一さん)

建一さんは、集まった署名が控訴審で証拠採用され、判決で希望の結果が出せるようにしたいと話していました。

[30日19時37分更新]

RCC